

追悼



小幡弘喜さんの ご冥福をお祈りします

さる平成21年12月23日に、本誌編集委員である小幡弘喜（株協和エクシオ顧問）さんが永眠されました。故人は通信事業者の代表としてJSTTの設立に大きく貢献されました。また、長期にわたりエースモール工法の協会長を務める中、ISTT国際会議では日本の非開削技術を視察団団長として国内外への普及活動に努められました。さらに、本誌の創刊からの編集委員、JSTTの事業として移管された工法ナビゲーションシステムを先駆けた会社代表を務めるなど、大きな功績を残しました。

筆者との出会いは、平成3年4月、当時NTTつくばフィールドシステム研究所の所長時代に、通信会社からの研究開発員として派遣された時でした。初めて声を掛けていただいたのもその頃で、『ここでの仕事は

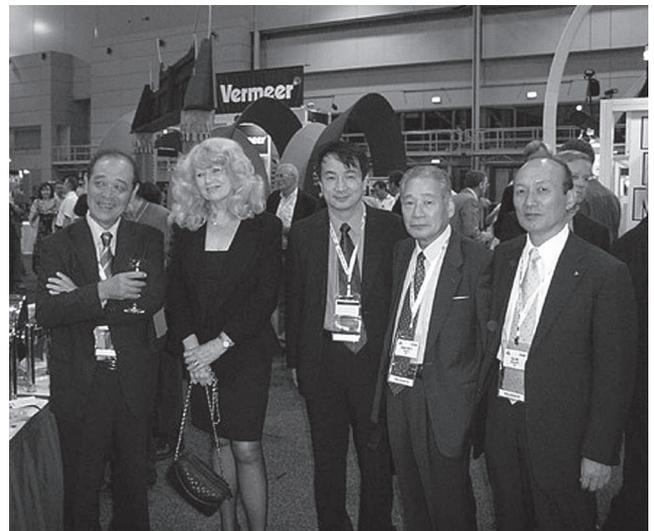
ネットワーク創りとワープロ（当時はOASYS全盛）、それとゴルフだけだからな！』と研究職に途惑っている私に対し励まし？の言葉を掛けて頂くなど優しい方でした。ゴルフは大変お好きだったようで、協会内でも多くの方々と国内外でのラウンドを楽しまれたことと思います。今頃は、故遠山名誉会長とゴルフ談義もしていることと思います。

これまで築いていただいた非開削ワールドは、今後いっそう努力し充実をはかりたいと思います。偉大な業績と人格とに深く敬意を表し、心より御冥福をお祈り申し上げます。

記 川合 孝
前 編集企画小委員長



故人（右）と筆者（左端）シドニーにて



視察団団長を務められたNo-Dig 2006 国際会議